

東京聖栄大学

後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会



講義室



玄関スロープ

エレベーター

会長挨拶

後援会会長 村本 光方 一



後援会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年四月の入学式後に行われました後援会総会にて、皆様の

◆四号館改修工事◆

平成二十六年七月、四号館の改修工事が完了した。この工事は①管理栄養学科教職課程（栄養教諭）設置に伴い教育効果を図るための教職課程センター・教職実践演習室の配置、②教養教育充実のための共通教育センターの配置、③四号館建物のバリアフリー化（玄関スロープ・エレベーターの新設）、④各階に男女別トイレの新設、等である。また、講義室にはプロジェクト・スクリーンを設置し、教育環境の整備も実施した。

平成二十六年年度保護者会について

今年度の後援会・大学共催による保護者会を十月四日（土）に開催することとなりました。保護者の皆様には、ご息女、ご息女の大学での様子、就職の展望等の報告について学年担任との懇談を予定しておりますので、ぜひご出席いただき、本学の教育内容について一層のご理解を深めていただきたいと思います。

総会・役員会報告

役員会報告
三月一日（土）に役員会全体会が開催された。
先ず、平成二十五年度事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、慎重審議の結果、同報告は承認された。
引き続き、平成二十六年事業計画案同予算案を審議、夫々承認された。さらに、進級する役員の方の二十六年度留任が決定。

総会

四月一日（火）の大学入学式当日、本学わたなべ記念館に於いて、ご父母（保護者）多数の出席を得て総会が開催された。初めに、昨年度の事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、異議なく承認された。引き続き、本年度事業計画案、同予算案が承認された。最後に、役員会の改選が行われ、選任・委嘱された新役員の方々の御紹介の後、新会長には村本光方一氏が選任された。併せて、平成二十六年度役員のご紹介があり、議場にて満場一致で承認された。
尚、総会での決定事項は本学ホームページに掲載しています。



昨年度の保護者会

ご承認を頂き、この度会長の任を仰せつかりました村本光方一です。この一年間、皆様のご理解とご協力を賜りながら、大任を果たしてまいりたいと存じます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。さて、東京聖栄大学では、この四月に第十期生を迎え晴れやかに出発致しました。又、六期生も四年間の実績を抱え「食」と「栄養」の『プロ』の自覚新たに巣立って行かれました。必ずや社会の良き一員と

なり、我が東京聖栄大学の卒業生として、後輩の良き手本となる事を期待致します。後援会と致しましても学生の後押しを全面的に支え、守っていきたいと思っております。何卒、後援会の皆様方のお力添えを賜り、社会で活躍出来る良き人材を輩出してまいりたいと考えていますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。最後になりますが、後援会の皆様のご健康・ご多幸と東京聖栄大学の益々のご発展を祈念し、ご挨拶と致します。

管理栄養学科

新たなステージへ向けた

管理栄養士を目指す

管理栄養学科長 田所 忠弘



第二十八回の管理栄養士国家試験全国の合格率は、昨年度より約八・五ポイントも上回った。新卒・管理栄養士養成課程では、昨年四十八名の合格者に対して五十三名、八十六・九%と一期生から数えて二番目の高い合格率を出すことが出来た。しかし、全国平均にはやや及ばず、今後の指導課題を残した。ここ数年、実力的には向上しているが故に、今一つ早めの準備対策努力と取り組みがなされれば、全国平均を上回ることも確実であると考えている。学生同士で相互支援し合えるシステムもアクティブな試みで、次年度への充実度も増強しながら卒業生が誇れる学科づくりをさらに目指している。

本年度からは、教職課程（栄

養教諭）もスタート、創立十年の節目を迎えた今、全国の管理栄養士課程と全てにおいて堂々と肩を並べるまでに至った。七号館の新設、四号館の改修と大学の施設、設備も充実度を増し、公務員試験対策を始めとした就職支援も骨太になり、早く国家試験合格率向上と安定化に繋がるよう先生方も一丸となって学生指導に努力している。

さて、学科では、葛飾区との包括連携協定の一環として、かつしかの元気食堂の展開に大きく貢献しており、九月二十日（土）には開会式典、試食会、講演会や区民への栄養相談、指導も行われた。新キャンパスへと日に日に変化しており、これまでに以上に社会との実践的な繋がりが益々重要となってくる。学生、卒業生、ご家族そして教職員の一体化に並び学理の側面と食習慣や文化伝統の融合をふまえ、人の健康、栄養、食品を専門とする特徴ある管理栄養士として社会で活躍してもらえよう学生には大いに期



国家試験対策講座

待している。また、臨地実習は学生の成長に大きな効果をもたらすものであるがゆえに計画と実行には後援会の理解と支援が要ともなる。

学生支援センター
(学生支援・就職支援)

●エントリーシート対策講座
四月二十三日（水）、外部講師を招いて三年次生を対象にエントリーシート対策講座を実施した。エントリーシートを書く上での注意事項等の説明・解説があり、それらを踏まえて実際にエントリーシート作成に取り組んだ。エントリーシート作成は就職活動において重要事項のひとつであり、本講座で学んだことを活かし就職活動の準備を進めてほしい。



た。本学が取り組んでいる「マナー向上運動」の一環で、参加者は楽しみながら受講していた。

●学内企業説明会
七月七日（月）、食品学科生を主対象とし食品関連企業の人事担当者をお招きして、学内企業説明会を実施した。参加した学生は熱心に説明を聞き、積極的に情報収集をしていた。今回の参加企業様から内定を頂いた学生もおり着実に内定に結びついている。

●就職活動のためのマナー講座
(二年) 七月九日（水）、三年次生を対象に就職活動のためのマナー講座を実施した。

●就職活動開始に備えた講座であり、参加した学生は重要点をメモに取るなど積極的に聴講していた。



就職支援
本学四年次生の内定状況（八月末日現在）は、四十七・六%と昨年度比プラス六・八ポイントと大幅に上昇した。学生支援センターでは今後も就職未内定者に対し継続して個別に就職支援を行っていく。就職未内定者は積極的に学生支援センターを利用し、諦めずに就職活動を継続してほしい。

三年次生の就職活動開始（＝企業の広報活動開始）時期がこれまででの十二月開始から三月開始に変更となる。これにより就職活動期間が短くなるため、事前の準備が今以上に重要となる。大幅な就職活動環境の変化により学生にとって不安が増しているが、後援会の皆様におかれましても学生のサポートをお願い致します。

学生支援センターでは就職専門業者によるガイダンスや学内業界企業説明会など多数の就職関連イベントを実施予定である。積極的にこれらのイベントに参加し、最新情報を収集して自身の就職活動に活かしてほしい。

就職支援にあたり、関係者の皆様のご協力をお願い致します。

食品学科

就職支援に助っ人登場

食品学科長 丸井 正樹



後援会の皆様には日頃から学生の就職に関してご支援をいただきありがとうございます。そのお力添えにより食品学科は総学生数約三五〇名と定員を満たしている。学生数の充足は授業環境の上質化に止まらず、学生生活の充実化につながるものである。就職状況においても、卒業生数の増加とともに向上きにある。今年の本学科の就職内定率は四十一％（八月末日現在）で昨年の同時期（二十八％）よりも高くなっている。企業の選考解禁日が四月に変更されたことで採用・就職活動が集中した結果とみることができるとある。この解禁日は二〇一六年卒生から八月になる。就活の時間が減り、学業に専念できる時間が増えることは、教育の立場からは歓迎されることである。

食品学科では、学生が希望に合った就職をするように努力しているが、今年度の入学生から導入した新科目「キャリアリサーチ」に注目してみよう。この科目は、就職活動および社会に飛び立つために必要な素養を習得することを目標としている。就職支援アドバイザー、学生支援センターの協力を得、さらに必要に応じて学外から講師を招くことで、実のある内容が期待される。二年次のフィールド研修も本科目に組み入れられる。現行の科目「インターンシップ」とともに就職において役立つであろう。ちなみに企業がインターンシップを行う理由の一つに、人材確保をあげている。早くから活動する学生に優秀な人材が多いと、認識しているためである。腰を上げるのが遅い学生が多い中、選考解禁日の変更など、本学の学生にとって有利な環境が整いつつある状況だ。頑張る学生を応援すべく、今後も引き続きご協力をお願いいたします。



フィールド研修

学友会活動報告

●学友会総会・部・同好会説明会

四月十一日（金）、「学友会総会」が開催され、新役員の選出や新年度の行事予定などが報告された。

引き続き、「部・同好会説明会」が開催され、各団体が熱心に新入生の勧誘を行った。



●新入生歓迎会

四月十八日（金）、「新入生歓迎会」が開催され、本学食品学科客員教授の藤島廣二氏より、「食の流通と取引の不思議」と題した特別講演が行われた。流通や取引の種類、それらの違いについてなど、本学における学習内容との関連性が強く、新入生は真剣に聴講していた。特別講演に続き、豪華賞品が当たる特別抽選会が行われ、非常に盛り上がった新入生歓迎会となった。

●体育祭

五月三十日（金）、本学第一グラウンド（船橋市）で、体育祭が開催された。一年次生はほぼ全員が参加し、出席率一〇〇％のクラスが三クラスあった。上級生も多数参加し、過去最高の出席状況であった。当日は雲一つない青空の下、白熱した戦いが繰り広げられ、歓喜につつまれた一日となった。



●聖栄葛飾祭（大学祭）予告

今年度の『聖栄葛飾祭』は、十一月八日（土）・九日（日）に開催される。テーマは「一食



入魂（True love for foods）」に決定した。今年も地元地域密着の大学祭として、葛飾区の後援や地元地域の協力等を得て開催される。たくさんの方のご来場を心よりお待ちしております。お待ちしております。

●部・同好会活動
平成二十六年年度の学友会認可団体は、部六団体（体育系・四団体、文化系・二団体）、同好会十三団体（体育系・六団体、文化系・七団体）の計十九団体である。各団体が熱心に活動をしており、学年・学科を超えて交流する場ともなっている。また、地域イベントやボランティア活動等、学外行事等への参加も年々増加している。今後も大学関係行事への参加協力や学外でのさらなる活躍を期待している。



聖栄ピアヘルピングワークス



